

# 石川県白山市立白嶺小中学校

## (概要)

- ・ 小学校児童数（クラス数）：72名（7クラス）
- ・ 中学校生徒数（クラス数）：75名（4クラス）
- ・ 施設概要：校舎棟 RC造2階建て（一部3階建て）、6,336㎡  
屋内運動場棟 SRC造3階建て、2,364㎡
- ・ 総事業費：28億8,000万円
- ・ エコスクールの事業タイプ：太陽光発電型、その他新エネルギー活用型、  
省エネルギー・省資源型、自然共生型、木材利用型  
資源リサイクル型
- ・ 整備期間：（検討期間：H17.11～H19.3、工事時期：期間H19.5～H20.11）
- ・ 要 旨：  
白山ろくらの山々に囲まれた緑豊かな自然環境において、地域特性を活かした地元産材や自然エネルギーの活用等により、環境問題を身近に感じることができる学習環境を整備するとともに、取り組みを地域や家庭に発信し、環境に対する意識の向上を図る。



校舎遠景



校舎近景

## (エコスクール化の内容)

### ① 太陽光発電型

- ・ 雪害を考慮し、外壁面に 2.0kWの太陽光発電パネルを設置



### ② その他新エネルギー活用型

- ・ 敷地内に風力と太陽光を利用したハイブリッド外灯と時計を設置 (200W×3基)



### ③ 省エネルギー・省資源型

- ・ 外装仕上を中空レンガ積みとすることにより空気層を設け、断熱効果を高めるとともに、躯体コンクリートの劣化を防ぎ、校舎の延命化を図る。



- ・ 夜間電力を利用する蓄熱式個別電気暖房機や氷蓄熱エアコンを採用
- ・ 地中の比較的安定した温度の空気を利用するクールヒートトレンチを採用

④ 自然共生型

- ・ 低学年運動広場の芝生化



⑤ 木材利用型

- ・ 地域の特性を活かし、地元産材を利用した内装等の木質化



⑥ 資源リサイクル型

- ・ 外構舗装等に瓦廃材の利用





## (エコスクール化による効果)

断熱ガラスの採用と併せ、冬季は雪囲いとして使用する木棧を夏季には日除けルーバーとして利用することにより、省エネルギー効果を図る。



## (環境・エネルギー教育への活用)

内装等に利用した地元産材について学習する。



森の学習活動① (学校周辺における植林)



森の学習活動② (植林した苗木周辺の下草刈り)



森の学習活動③ (間伐材を利用した学習状況)